

第2回 鳴門市まちづくりデザイン会議を開催

第1回デザイン会議より次回会議での報告とされた、若い世代へのアンケート及び活用方法や制度、都市構造と都市軸および交通量調査について議論したほか、市が現在行っている事業の紹介も行いました。

参加委員：内藤座長、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、安宅委員(代理：浜様)、池田委員

現状報告

鳴門駅西側にあるキョーエイ鳴門駅前店が、5月末で閉店
鳴門センター街が所有するビルに入居していたテナント等は、全て退去された
所有者によると、活用方法は未定だが、今後、検討していきたいとのこと。

- ・大変残念に感じているが、あくまでも個人の持ち物で、あれこれ言うのはどうか。
- ・駅前的重要な場所ではあるが、所有者がいない中、本会議で議論するのはどうか。
- ・色んな要素が重なっている。民業であり、基本的には関与できない範囲のこと。
- ・多くの方と話をした。皆さんまちのことを思っているからこそ、色んな意見がある。
- ・デザイン会議は、基本的にはこの話とは分けて、もう少しまち全体、中心市街地全体をどうするかということを一生懸命頑張る。中心市街地の基礎体力をどうするか、そこに話を向けた方がよい。
- ・不便になる方もいることから、野菜とか日用品だけでも売場所が臨時でもあればいいのではと、市民感情としては思う。
- ・中長期的に見ると、大事なポイントとなる場所ではある。会議としては、その動向を注視していく。
- ・まちの中にいい風を吹かせせていく、街なかのイメージをみんなで作っていかねばならないと思う。



アンケート結果の報告

本年4月～5月に実施したアンケート結果を事務局より報告

対象者：①小学生(児童クラブ訪問調査) ②市内高校生(web調査)
③夕暮れマルシェ(街頭調査)

調査内容：駅前周辺で欲しい施設、普段よく使う施設など

回答件数：1,135件 ※ 結果の詳細は、会議資料2、3-1、3-2、4 を参照

【アンケート結果を受けての意見】

- ・中学生はこれからどうしようかって世代、是非、話を聞いてきて報告して欲しい。
- ・高校生では、鳴門駅周辺に用事がない、魅力がないとの回答が圧倒的に多かった。
- ・友達と気軽に遊べる場所、誰かと触れる空間を高校生は求めている。
- ・高校生は、市外から鳴門に通う割合が多く、定期券を持っていたり、週末、鳴門では過ごさない。逆に、立ち寄る場所があれば、集ってくる状態を作れるのでは。
- ・高松駅周辺では、4車線の道路を2車線にして歩道を作ったり、所々にベンチを置いたり段差を設け、学生が座ったり食べたりしている。仕掛け作りは色々ある。
- ・まちが人を受け入れるメッセージなり気配があると動きが出てくる。鳴門には、足湯はあるが、今のところ若い人が集まる感じ、そんなメッセージにはなってない。

第2回鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録 概要版

会議の日程

- 第1回 令和7年3月24日(月)済
- 第2回 令和7年6月13日(金)
13時半～15時半
鳴門市役所2階大会議室
- 第3回 令和7年8月9日(土)
今年度中に2回程度開催を予定



第2回会議の様子

- ・イベントスペース、スタバ、おしゃれなカフェが欲しい、そんな意見が多かった。
- ・駅の近くに撫養川がある。まちづくりと川を結び付けることを、大きい視点として組み込みたい。通行量が殆どなくもったいない。歴史的な事もPRできれば良い。権限的に市で手が出せないところがあり、県と一緒にやっていく必要がある。
- ・小さい子も高校生も、ドラックストアはもういらないとか、痛い所を突いてくる。
- ・事業者は予め出店前に調査をする。コンビニがないのは交通量の流れが悪いから。
- ・他の街でも同じ結果が出そう。ゆめタウン・イオン、徳島駅2階のプリクラ、そこに中高生が集まる。鳴門の人が鳴門駅に来ることになれば、他町からも勝手に来る。
- ・鳴門は観光というコンテンツも大事。集まったり待機できる場所も欲しい。
- ・半数以上の高校生が回答しているというのは、まちづくりに興味がある証。小さな仕掛けでも人が来るポテンシャルが鳴門にはあると思う。
- ・友達とわいわいやりながら居られる場所が必要。少しずつ改善すれば、時間を潰せる場所になり得る。
- ・友達と一緒に勉強したい、待ち時間に勉強したい、勉強をネタにお喋りしたいというニーズが見える。



アンケート結果の報告

- ・気軽に入れるお洒落なカフェのニーズが、スタバとのキーワードに集約されてる。
- ・30年くらい前の鳴門の高校生には、毎日たまるどころがあったけど、今は、イベントの時だけ凄く人は来るのに、普段は本当に人がいない。駅前に芝生広場があって、イベントスペースがあれば、高校生も大人たちもマルシェも集まってくる。
- ・**おもしろがって仕掛ける人がいて初めて場所が活きてくる。裏方のソフトウェア作りの方が結構大事。**きれいな場所が出来ておしまいでは、つまんない。
- ・**他市の調査も結果はほぼ同じ。**欲しいのはカジュアルで、おしゃれで、しゃべりも勉強もしながら長時間くつろげる、色んな人がシェアできる自分の居場所。**20～30年かけて起こったことを、今度は逆方向で、再構成して仕掛けていけばいい。**
- ・ショッピングセンターは集客の努力をしてきたが、今では学生も仕方なく行っている感じがある。あそこになんで**学生が、通い続けているのか、何が若者を集めているのかを真剣に考える。**それに対して、街が的確に答えるというのが答え。

- ・ **小さくても日本一、例えば日本一** 美味しい珈琲が飲める店があれば、みんな行く。**若い人のプライド誇りになる。**物事の始まりとしてはいいかもしれない。
- ・ 高校生の暇な時間、持て余している部分を我々は掘み取りたい。
- ・ 若い人の意見を実現できたら、鳴門は若い人の意見を聞いてくれるまちにつながって、鳴門が好きですという人が増える。
- ・ まちづくりの大きな話の一つとして、**若い子がまち中で、過ごせる場所をできるだけ増やしていこうというのは、本会議のテーマとして掲げてはどうか。**
- ・ 若者のプライドと、無人店舗みたいなものの可能性、その両方が見えると新しい中心市街地のあり方も見えてくる。
- ・ **ハンディのある人も街なかに出てきて、混ざり合う、コミュニケーションを取り合う、そういう街になったら凄いいい。**



都市構造と都市軸

都市構造の変遷、マスタープラン・立地適正化計画が示すまちの形、都市機能の分布状況、歩行者等交通量調査結果、都市軸案について説明

- ・ **南北の交通量が多い、東西が弱い、こういう印象。**
- ・ 商店街は、朝夕の通学の時間を入れても、あまり通っていない印象。
- ・ 地方都市で、昼間に人が歩いていないのは当然であって、どんな人が歩いているかが大事。**人数だけでなく、歩行者の質(誰が・どこへ)の方が、理解が深まる。**
- ・ 都市構造の進化に向けては、考えの整理、必要な軸、全体の軸、それらの落とし込みが大事。**現況の都市軸案をどうしていくかが、今後のメインテーマの一つになる。**
- ・ **まちの形**については、完成形でなくともいいので、そろそろ少しもっていく方向性をはっきりさせていったほうが良い。

関連事業の説明

リノベーションまちづくり推進事業、公民連携エリアリノベーション応援事業 撫養川沿いの河川空間の利活用について説明

- ・ 空き地や地域資源を活かしてエリア価値を上げていく「**リノベーションまちづくり**」に係る講演会を予定(7/5)
- ・ 民間団体との連携を図りつつ、撫養川沿いなどで**公民連携のイベントを継続的に実施**、賑わいを創出している。
- ・ 撫養川沿いで、**河川空間のオープン化**について、管理者である県と協議中。イベント等の実施を目指す。



イベントの様子

活用方法と制度

まちづくりに活用可能な制度、制度を利用した実施例を説明
水辺を使ったまちづくりの先進地事例を紹介

- ・ インフラ整備にかかわるものは、時間がかかる。河川は調整事項も多く、調整しているうちにまちが動いてしまう。**長期・中期・短期と取組み期間毎のメニュー分けが必要。**
- ・ 手をつけられそうな所から進めて行くとして、川や道路を変えていくと、まちは本気で変わる。
- ・ デジタル世代に合わせ、通信環境などは中心市街地で、きちんと整備しておいた方がいい。
- ・ **国の補助制度を見ながら、メニューを分けて、国の補助を使って仕掛けていくことが必要。**



川を使った賑わい創出例

今後の検討・議論の方向性

- ・ 次回に向け、中学生へのアンケートを行い、報告する。
- ・ まちなかを歩く人の動向調査を行う。
- ・ 次回会議では、まちの形について、議論を進めていく。

これまでの会議で議事録や資料については、市公式ウェブサイトをご覧ください。右のQRコードからも閲覧できます。



§ 次回は、8月9日(土)午後1時30分～消防庁舎3階会議室で開催します。